

国語科学習指導案

授業者 広島市立〇〇中学校
〇〇 〇〇教諭

1 日時 平成23年〇月〇日 (〇)

2 学年・組 第3学年〇組

3 指導事項

① 書くこと (1) ア

- ・ 社会生活の中から課題を決め, 多様な方法で材料を集めながら自分の考えを深めるとともに, 文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。

② 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 2年 イ(オ)

- ・ 相手や目的に応じて, 話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。

4 単元名 説得力のある文章を書こう—意見を主張する—

5 言語活動

〇 2年 B (2) イ

- ・ 多様な考えができる事柄について, 立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語に関する知識・理解・技能
〇身の回りや社会の出来事などに着目し, テーマを見つけようとしている。	〇自分の意見とそれを裏付ける適切な材料を示し, 読み手を説得できる構成を工夫して書いている。	〇読み手を説得するための文章の形態や展開について理解している。

7 単元について

① 生徒の状況

- ・ 本生徒は第2学年において意見文を書いている。これは, 主張に対して賛成か反対かという自分の立場を明確にする, 説得型の意見文であった。その際, ①自分の立場を決めること(それに適したテーマの選定), ②根拠を明らかにすること, ③構成を考えること, 以上三点をふまえて書くことを学習している。また, 反論を予想し, 反論に対する意見を考えることにも取り組んでいる。しかしながら, 自分の意見を支える根拠については, 生徒自身の体験に依拠するところが大きく, 読み手を説得するという点において不十分だった。ただし, 予め「構成メモ」を作る活動を通して, 基本的な論理の展開のしかたにはある程度習熟していると思われる。
- ・ 「聞くこと・話すこと」の領域であるが, 前期に実施した単元「わかりやすく伝えよう」では発表用原稿を書いた。その際, ①相手がどの程度の情報をもっているかを考えて, 必要な情報を取捨選択すること, ②相手が知らない言葉や, 聞いただけでは伝わりにくい言葉は, 解説を加えて説明したり, 別の言葉に言い換えたりすること, ③相手にとって理解しやすい話の順序にすること, 以上三点に留意して書くことを学習している。説明や言い換えが少々どくなりがちな生徒もいたが, 相手に応じた表現を意識することはできていた。

② 教材の価値

- ・ 今回, とりあげるのは2年生で学習した説得型の意見文に加えて, 主張のうえによりよい解決策を提案していく問題解決型の意見文の2種類である。問題解決型の意見文は主張とそれを支える根拠のみならず, 主張から発展させた提案(解決策)とその提案を支える根拠も必要と

なってくる。社会生活では、自分なりの主張をもってよりよい解決策を提案していくことがこれからますます重要視されると思われるので、ぜひ生徒に習得させたいと考える。

③ 指導の工夫

- ・ 2年生の時は、テーマを決め意見文を書かせたが、今回の単元については、教科書のテーマ例などを参考に自分で設定させたい。というのも、説得力をもたせるためには、情報収集を自分でし、課題を設定し、取材を繰り返していくことが必要であると考えたからである。ほとんどの生徒は自分で課題を設定できるであろうが、数名の生徒には教科書のテーマ例の中から選ぶよう指示したり、社会で問題となっている事例などを紹介したりなどして支援していきたい。また、多様な課題設定をすることで、第5次第7時の交流でものの見方や考え方が深まることを期待している。
- ・ 自分の意見を主張し、説得力をもつ文章にするためには、構成の果たす役割が大きいことから、自分の主張や提案を支える根拠をどのように配置するのか、書き出しはどのように工夫するのか、反論にはどう説得を試みるのか、等も含め、文章化するにあたり「構成メモ」を作成させたい。その際、昨年度の生徒作品を例として使ったり、一つの文章の順序と段落の役わりを班で考えさせたりする活動を仕組み、基本的な構成について共通理解を図りたい。さらに、説得・ディベート型の意見文と問題解決・課題解決型の意見文では構成等も異なるので、ワークシートもそれぞれ作成し、形式段落を6個前後にするよう指示するなど、読み手を説得できる構成を工夫することを意識させたい。

8 単元の学習と評価の計画

次	時	学 習 活 動 (評価方法)
1	1	テーマを設定し、自分の主張（立場）を明確にする。（ワークシート）
2	2	自分の主張を裏付ける具体的な根拠（事実）を挙げる。（ワークシート）
	3	反論を想定して、主張や提案を見直し、補強する。
3	4	説得型、問題解決型の構成を理解し、自分の意見文の構成を考える。（ワークシート） (本 時)
4	5	構成メモをもとに、下書をする。（作品）
	6	推敲し、清書する。（ワークシート・作品）
5	7	交流し、論理の展開の仕方などについて評価しあう。（ワークシート）

9 本時の目標

- 自分の意見文がどちらの型の意見文か考えて、構成メモをつくる。

10 本時の展開

過程	学 習 活 動	指導上の工夫・留意点	評価規準・評価方法
確 認 意 欲 付 け	1 前時までの振り返りを行う。 2 本時の目標について知る。	○ ワークシート1で確認させる。 ○ 板書する。	
自分の意見がAかBかどちらかを考えて、構成メモをつくろう。			
展 開	3 B説得型の意見文(○中学生作品)の構成について調べる。 4 A問題解決型の意見文の構成について調べる。 (1) 適切な順番に並び変える。 (2) それぞれの段落の働きや用法について考える。 5 話し合いの結果を発表する。	○ 筆者の主張(意見)が述べられている箇所に線を引かせる。 ○ 「双括弧」の文章であることを確認する。→教P.149参照 ○ 文章を段落ごとにばらばらにした意見文のプリント(ワークシート2)を配布する。 ○ 各自課題に取り組んだのち、グループで話し合わせる。 ○ 必ずコメントを添えさせる。 ○ 実際の順番を明らかにし、解説を加える。	
	6 自身の文章はどの構成が適しているかを考え、構成メモにまとめる。	○ ワークシート1に記入させる。 C:「尾括弧」あるいは「双括弧」になるよう、構成メモに自分の主張を配置させる。 ・A問題解決型→「尾括弧」 ・B説得型 →「双括弧」	書 A:二つの構成のしかたのうち、どれかを使って構成メモにまとめており、かつ論理的な展開になっている。 B:三つの構成のしかたのうち、どれかを使って構成メモにまとめている。(ワークシート)
日常化 一般化	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習の見通しをもつ。	○ 三つの構成のしかたについて確認し、自身の構成メモがそのどれかに当てはまっていることも確認する。 ○ ワークシートに書かれた取材メモや構成メモをもとに、原稿用紙に意見文の下書きをすることを予告する。	